

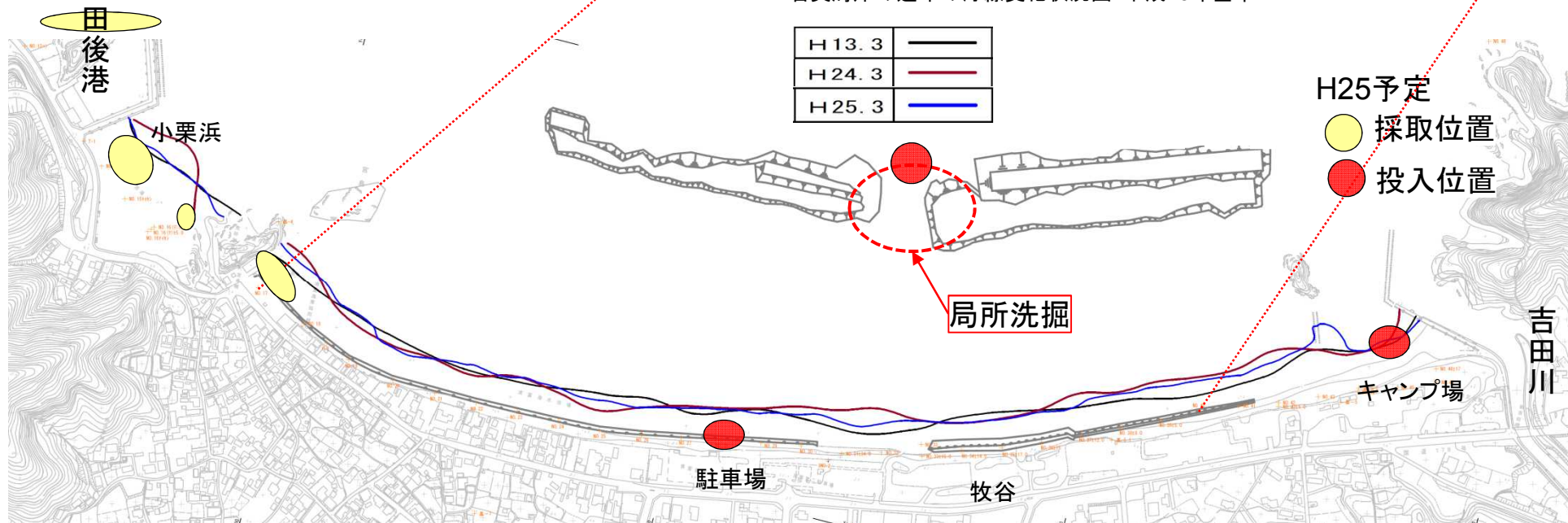
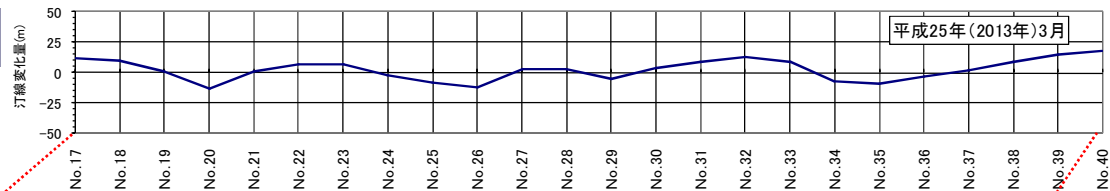
平成25年度 鳥取県東部沿岸土砂管理協議会 ＜要 旨＞



H20.4撮影

平成25年10月30日
鳥 取 県

岩美海岸(浦富地区)

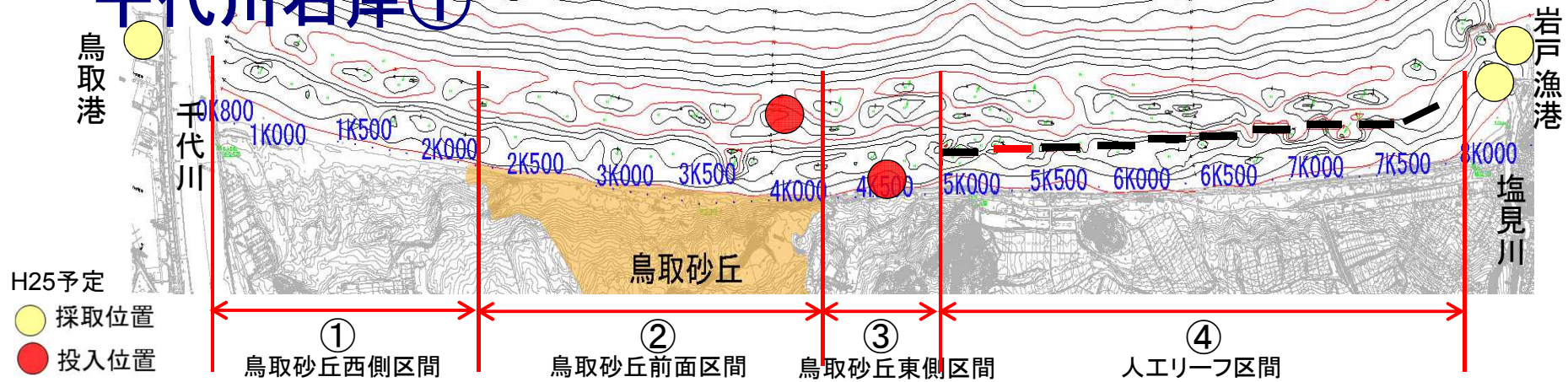


岩美海岸(浦富地区)の近年の汀線図

H13からの傾向	サンドリサイクルの効果により汀線安定傾向。人工リーフ開口部に局所的な深掘れが発生。
H13からの対策	サンドリサイクル、人工リーフの整備
H25対策	サンドリサイクル、人工リーフの整備(経過観察)
H24~H25の変化	大きな汀線の変動はない。人工リーフ開口部の深掘れ状況に変動はない。
H26対策予定	サンドリサイクル、人工リーフの整備
H13~H24サンドリサイクル実績451,957m ³ 、年平均37,663m ³ [対応状況等] ・人工リーフ開口部で深掘れ(周辺に比べ-10m程度)が発生しており、引き続き注視する必要がある。 ・波浪(特に冬期風浪)により、局所的な侵食を受けているため、引き続き浜崖の発生などに注視する必要がある。	

—: 整備済み
 -: 未整備、整備中

千代川右岸①



区間	①	②	③	④
H18からの傾向	安定傾向	西側はサンドリサイクルの効果により安定傾向 東側は侵食傾向	汀線前進傾向	安定傾向 人工リーフ未整備箇所は侵食傾向
H18からの対策	—	サンドリサイクル (鳥取港、塩見川、岩戸漁港)	サンドリサイクル (鳥取港、塩見川河口、駟馳山BP)	サンドリサイクル (岩戸漁港、塩見川、千代川) 人工リーフの整備
H25対策	—	サンドリサイクル	サンドリサイクル	人工リーフの整備
H24～H25の変化	安定傾向	西側はサンドリサイクルの効果により安定傾向。 東側は侵食傾向。	安定傾向	安定傾向であるが、リーフ未整備箇所における局所的な侵食は解消されていない。
H26対策予定	—	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル 人工リーフ

H17～H24サンドリサイクル実績575,433m³(うち系外から82,375m³)、年平均71,929m³
 [対応状況等]
 ・鳥取砂丘西側区間に局所的に侵食あり、引き続きサンドリサイクルによる対応が必要。
 ・人工リーフ未整備箇所において局所的に侵食があり、引き続きサンドリサイクル、リーフの整備で対応が必要。
 ・漂砂系外からの土砂搬入により海浜の安定が図られており、今後も陸上部や河川下流中流域の掘削工事等における流砂系からの発生土砂について海浜に適したものであれば、積極的にサンドリサイクルに利用していくことが必要である。

千代川右岸②

サンドリサイクル開始以後の汀線経年変化

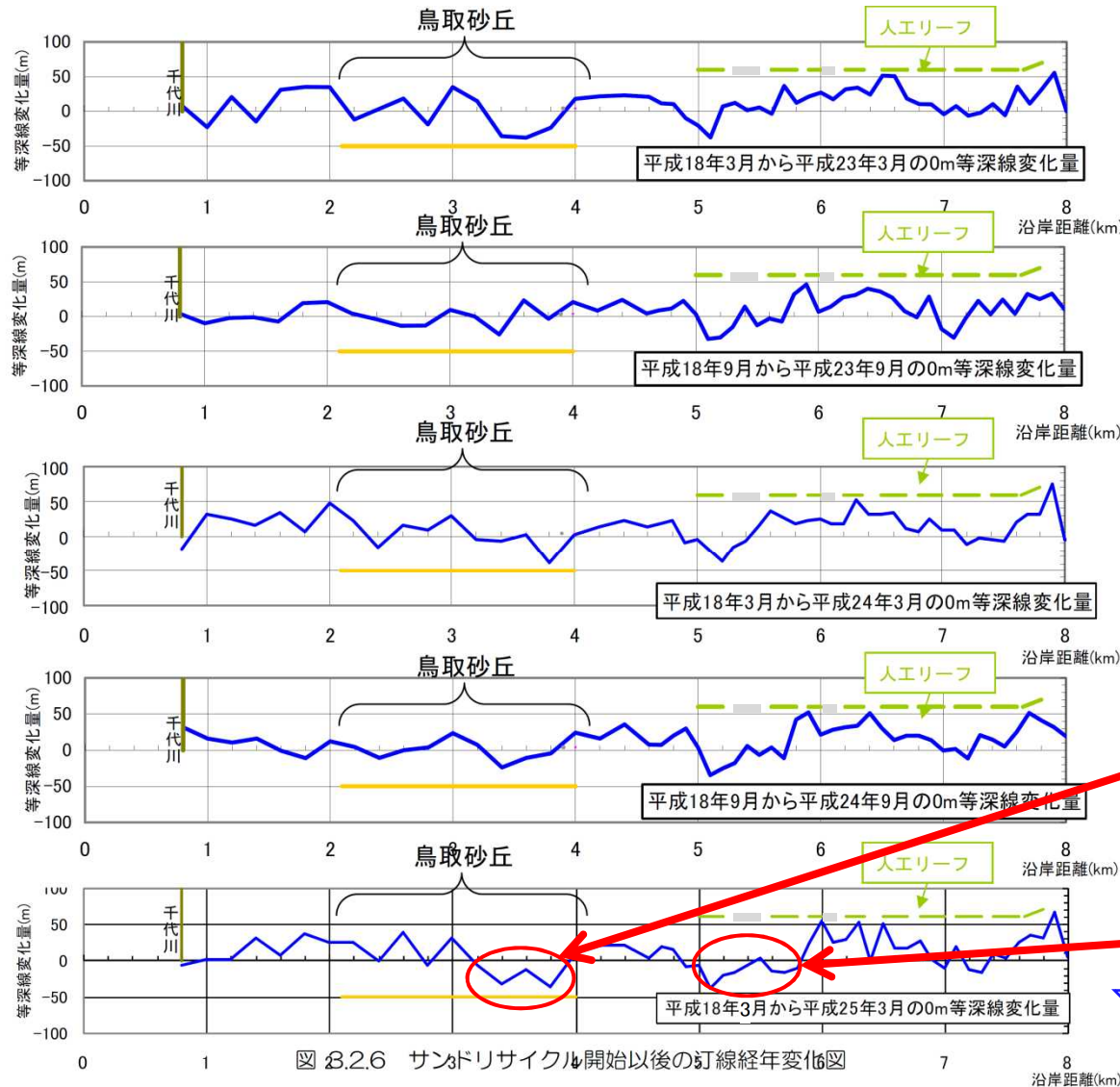


図 3.2.6 サンドリサイクル開始以後の汀線経年変化図

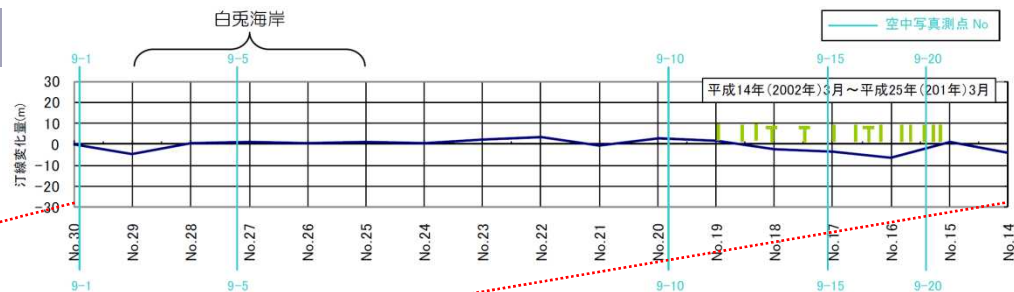
H18を基準とすると、50m程度の汀線の前進後退が見られる。

折れ線を比較すると、おおよそ同じ形状であり、最近の汀線状況は落ち着いている。

鳥取砂丘東側区間に局部的に侵食あり、引き続きサンドリサイクルによる対応が必要。

人工リーフ未整備箇所において局部的に侵食があり、引き続きサンドリサイクル、人工リーフの整備による対応が必要。

千代川左岸

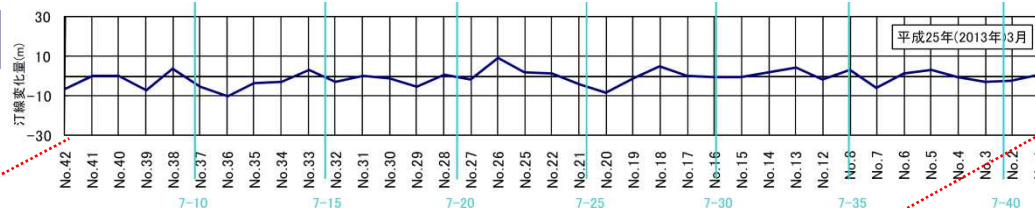


千代川左岸の近年の汀線変化状況図：平成14年基準

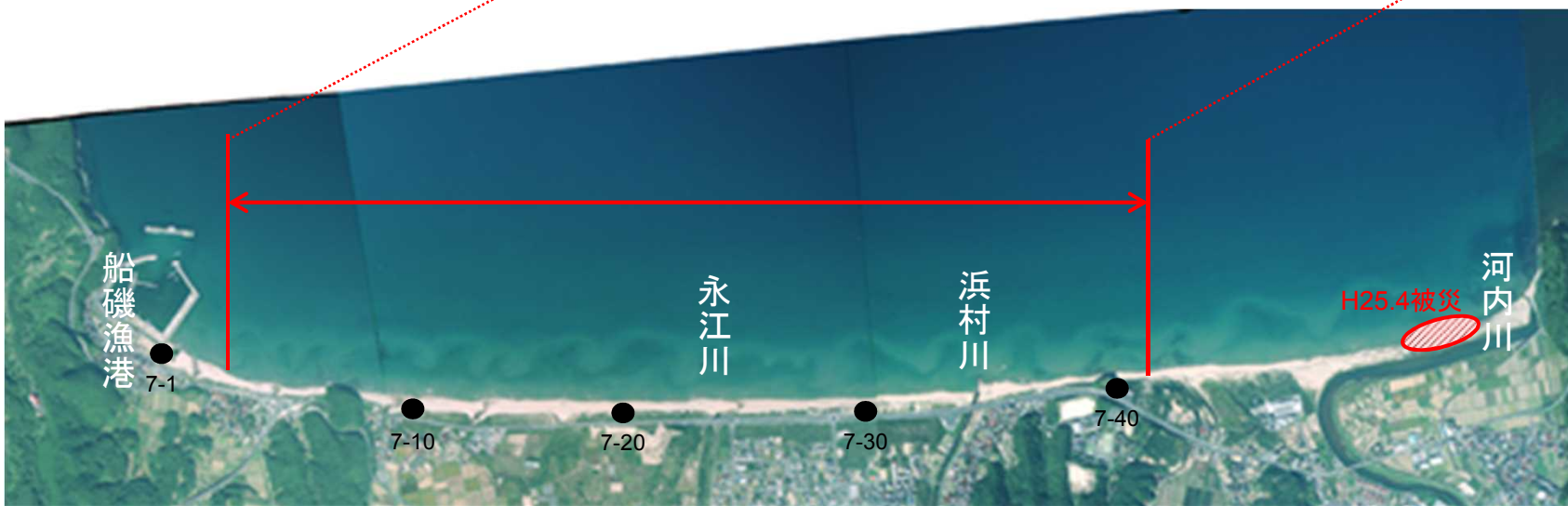


区間	①	②
H14からの傾向	全体的には安定傾向。	安定傾向
H14からの対策	—	—
H25対策	汀線測量に加え、深淺測量を実施。	—
H24～H25の変化	大きな変動はなく安定傾向。 H22、H23に浸食を受けた西側の浜崖発生箇所は回復傾向にある。	安定傾向
H26対策予定	引き続き、汀線測量、深淺測量を実施	—
[対応状況等] ・H14基準汀線と比較し、汀線の大きな変動はない。 ・海浜が安定的であることから、サンドリサイクル等の対策は実施されていない。 ・引き続き深淺測量等により、適切な状況把握が必要。 ・必要に応じてサンドリサイクル等の対応を実施する。		

気高海岸

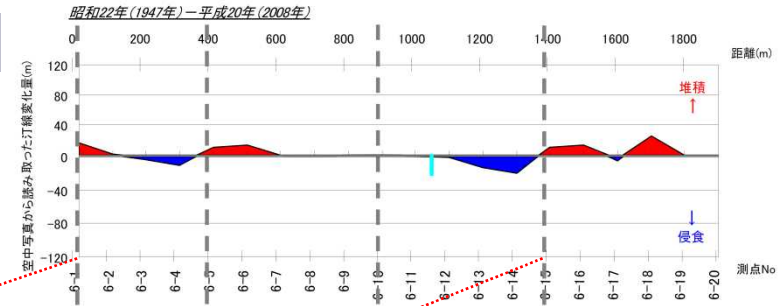


気高海岸の近年の汀線変化状況図; 平成4年3月基準



H4からの傾向	汀線の変動幅は10m以内で安定。
今までの対応策	永江川・浜村川・河内川河口浚渫土、船磯漁港航路泊地浚渫土によるサンドリサイクル
H25実施内容	サンドリサイクル(永江川・浜村川・河内川、船磯漁港)
H24～H25の変化	汀線の局所的な前進後退はあるものの、サンドリサイクルの効果により全体的に安定傾向。
H26予定	サンドリサイクル
サンドリサイクルの効果もあり、長期的に安定傾向。 [対応状況等] ・浜村川右岸側において局所的な侵食が判明。 ・浜村川右岸側の経過観察も含め、今後もモニタリング結果を注視する必要がある。	

青谷海岸



青谷海岸の汀線変化状況図
(昭和22年基準)



近年の傾向	過去からの汀線の前進後退の幅は概ね20mである。近年では昭和22年頃の汀線に戻っている。
近年対応策	勝部川河口浚渫土によるサンドリサイクル
H25対策	勝部川河口浚渫土によるサンドリサイクル
H24～H25の変化	日常の巡視結果においては、安定している。
H26対策予定	サンドリサイクル
今後も定期的なモニタリングを実施する。 [対応状況等] 特になし。	